

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	音更町農業再生協議会		整理番号	2		
使途名	省力化作物助成					
対象作物	そば、なたね					
単 価	10,268円/10a（15,000円/10aを上限単価とする。）					
課 題	<p>麦・大豆に代わる省力化作物としてそば、なたねの作付拡大を図っており、連作障害による反収の低下を回避するための取組を進めているが、そば、なたねの反収の低下への懸念は解消されておらず問題解決が困難な状況にある。</p> <p>整理番号4の取組に加え本取組を推進することで、より一層そば、なたねの作付面積確保を重要課題の一つと位置付け、取り組む農業者への支援を確実なものとし、継続した取組により作付面積を維持することで輪作体系の確立を進め、反収の向上を図る。</p>					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	5.0ha	6.0ha	7.0ha
	反収（そば）		-	115kg	120kg	125kg
	反収（なたね）		-	290kg	300kg	310kg
	作付面積	実績	4.5ha	0	1.9ha	-
	反収（そば）		-	-	-	-
反収（なたね）	141kg		-	165kg	-	
内 容	地域振興作物の作付を行い、生産性向上等のための取組を行った上で、販売目的で生産（耕作）する販売農家に助成を行う。					
具体的要件	<p>○対象農地：水田地</p> <p>○助成対象者：助成対象作物を作付し、販売目的で生産した農業者</p> <p>○助成対象取組： 生産性の向上等のため次の取組を行った作付に対して助成を行う。 ○輪作体系の導入（3年連作の禁止） ○輪作体系の確立のため、農協・普及センターの意見に基づき輪作計画を策定</p>					
取組の 確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物： 営農計画書、交付申請書、現地確認、作業日誌、その他取組を証明できる書類等。					
成果等の 確認方法	作付面積：令和5年12月頃の産地交付金実績報告時までに支払対象面積を集計し、過年度との比較を行う。 単収：令和6年3月頃までに出荷販売伝票をもとに、過年度との比較を行う。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。